学校番号	３２２

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	3 単位	年次	3 年次 （普通科）
使用教科書	「精選古典Ｂ【改訂版】」（三省堂）						
副教材等	・「完全傍訳　やさしく　くわしい古典文法　三訂版」（尚文出版） ・「クリアカラー　国語便覧」（数研出版） ・「古典ウィニングクリア２」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典としての古文・漢文を読む能力を２年次よりさらに養い、ものの見方、感じ方、考え方を広くしていきましょう。
・古典についての理解や関心をさらに深めるために、わからない単語は辞書を使って意味を調べるなどして、語彙力や文法の力をしっかり身につけましょう。
・課題やレポート、小テストなどにこつこつと取り組みましょう。
・定期考査は日ごろからの学習をベースに、しっかり取り組みましょう。

2　学習の到達目標

・古典を読む力を進んで高めようとし、古典についての理解や関心を深められている
・思想や感情を的確にとらえ、その価値を考察して自分の考えを深められている
・伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身につけられている

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c :知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確にとらえたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	発言(質問)、授業への取り組み状況、提出物の状況、面接、定期考査における論述など	発言、ワークシート、課題プリント、小テスト、ノート点検、レポート、定期考査など	発言、音読、小テスト、定期考査など

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c			
一学期	随筆と日記	教材 「ありがたきもの」(「枕草子」) 「夢よりもはかなき世の中を」(「和泉式部日記」)	○	○	○		a:文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、伝統と文化について理解を深めている b:各作品から読み取れる作者の心情・感性を理解している c:文学史的な基礎知識を正確な読解に結びつけている	a:行動の観察など b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など c:発言、ノート、定期考査など
	物語一	教材 「廃院の怪」(「源氏物語」) 「東風吹かば」(「大鏡」)	○	○			a:文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、伝統と文化について理解を深めている b:　正確な読解を基にして、登場人物の行動や心情をとらえている	a:行動の観察など b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など
	史伝	教材 「乱世之姦雄」(「十八史略」) 「三往乃見」(「三国志」)		○	○		b:正確に読解し登場人物の行動や心情を捉えている。 c:重要な句型の意味用法について理解を深めている	b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など c:発言、ノート、定期考査など
二学期	和歌と俳諧・俳文	教材 「下手は上手の手本」(風姿花伝) 「浅茅が宿」(雨月物語)	○	○			a:文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、伝統と文化について理解を深めている b:　各作品の表現技法・特色と詠みこまれた情景や心情を理解している	a:行動の観察など b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など

	物語二	教材 「能登殿の最期」 （「平家物語」）	○	○	○		a:文中の情景や心情などを作者がどのように表現しているのかをとらえ、理解を深めている b:各場面の状況や登場人物、またその心情について正確にとらえている c:「平家物語」の特質を理解し、その知識を正確な読解に結びつけている	a:行動の観察など b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など c:発言、ノート、定期考査など
	小説	教材 「酒虫」（「聊斎志異」）	○		○		a:小説の読解を通して内容を正確につかみ、漢文に親しむ姿勢をもっている c:作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえている	a:行動の観察など c:発言、ノート、定期考査など
三学期	評論	教材 「文」（「無名草子」） 「行く春を」（「去来抄」）			○		c:さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げている	c:発言、ノート、定期考査など
	漢詩	教材 「長恨歌」		○	○		b:書く詩文の内容を的確に理解している c:漢文学の伝来や日本に与えた影響について理解を深めている	b:発言、話し合い、ノート点検、定期考査など c:発言、ノート、定期考査など

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。